

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 11 月 21 日(2022.11.21)

【公開番号】特開 2022-94295(P2022-94295A)

【公開日】令和 4 年 6 月 24 日(2022.6.24)

【年通号数】公開公報(特許)2022-114

【出願番号】特願 2021-144144(P2021-144144)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 11 月 11 日(2022.11.11)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者が視認可能な演出を実行可能な所定の装飾装置を備える遊技機であって、

前記所定の装飾装置は、

発光手段が配置された基板と、

前記発光手段から発光された光を入光可能であり、入光した光を所定方向に進行させて、

遊技者が視認可能な演出部を発光させることが可能なレンズ部と、

を備え、

前記発光手段は、第 1 発光手段と、前記第 1 発光手段とは異なる第 2 発光手段と、を有し

30

、

前記基板は、第 1 の面に第 1 発光手段が配置され、第 2 の面に第 2 発光手段が配置され、

前記レンズ部は、

前記第 1 発光手段から発光された光を前記所定方向に進行させて、遊技者が視認可能な第

1 演出部を発光させることが可能な第 1 レンズ部と、

前記第 1 発光手段とは異なる面である前記第 2 の面に配置される前記第 2 発光手段から発

光された光を、前記所定方向と略同一の方向に進行させて、遊技者が視認可能な第 2 演出

部を発光させることが可能な第 2 レンズ部と、

前記第 2 発光手段から発光された光を、前記所定方向とは異なる特定方向に進行させる第

3 レンズ部と、

を有し、

40

前記第 2 レンズ部は、前記第 3 レンズ部により前記特定方向に向けて進行した光を、前記

所定方向に向けて進行させることが可能であり、

前記第 2 レンズ部と前記第 3 レンズ部とは接続され、前記第 2 レンズ部と前記第 3 レンズ

部とが接続される接続部は、前記特定方向に向けて進行する光を前記所定方向に向けて進

行させることが可能な形状に形成されており、

前記第 1 レンズ部は、発光態様が異なる複数の発光領域を有し、

前記複数の発光領域を区分する境界には、一の発光領域と他の発光領域との光の干渉を防

止する境界壁が設けられている、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

従来、例えばパチンコ機又はパチスロ機などの遊技機が公知となっている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

特許文献1には、レンズ部材を、基板における発光手段の実装面を覆う位置から、基板の少なくとも一つの端部よりも外側であり、かつ基板における発光手段8281aの実装面の裏面を超える位置まで延設し、光を反射可能な反射部材で形成されるとともに、基板の少なくとも一つの端部よりも外側であり、かつ基板における発光手段の実装面の裏面を超える位置であって、レンズ部材の端部から出光する光を反射可能な位置にベース部材を設けた遊技機が開示されている。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【特許文献1】特開2019-107322号公報

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

特許文献1に記載の遊技機によれば、レンズ部材を介した照射にムラが生じることを抑制し、興趣を高めることが可能となる。しかし、遊技機には発光手段等を配置するスペースに限りがある。そのような状況下でも、さらに興趣を高めるための発光演出を行うことができる遊技機の提供が望まれている。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、上述した課題に鑑みてなされたものであり、興趣を高めることが可能な遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明に係る遊技機は、

10

20

30

40

50

遊技者が視認可能な演出を実行可能な所定の装飾装置（例えば、第 1 演出役物 5 9 E）を備える遊技機であって、

前記所定の装飾装置は、

発光手段（例えば、表側第 1 LED 5 9 2 7 E、表側第 2 LED 5 9 2 8 E、裏側 LED 5 9 2 9 E）が配置された基板（例えば、LED 基板 5 9 2 2 E）と、

前記発光手段から発光された光を入光可能であり、入光した光を所定方向（例えば、前方）に進行させて、遊技者が視認可能な演出部（例えば、第 1 発光部 5 9 2 5 1 E、第 2 発光部 5 9 2 5 2 E、立設部 5 9 2 1 2 E の前方側の端面 5 9 2 1 6 E）を発光させることが可能なレンズ部（例えば、第 1 レンズ 5 9 2 5 E、第 2 レンズ 5 9 2 1 E の平板部 5 9 2 1 1 E、第 2 レンズ 5 9 2 1 E の立設部 5 9 2 1 2 E、第 3 レンズ 5 9 2 6 E）と、
を備え、

10

前記発光手段は、第 1 発光手段（例えば、表側第 1 LED 5 9 2 7 E、表側第 2 LED 5 9 2 8 E）と、前記第 1 発光手段とは異なる第 2 発光手段（例えば、裏側 LED 5 9 2 9 E）と、を有し、

前記基板は、第 1 の面（例えば、前方側の面）に第 1 発光手段が配置され、第 2 の面（例えば、背面側の面）に第 2 発光手段が配置され、

前記レンズ部は、

前記第 1 発光手段から発光された光を前記所定方向に進行させて、遊技者が視認可能な第 1 演出部（例えば、第 1 発光部 5 9 2 5 1 E、第 2 発光部 5 9 2 5 2 E）を発光させることが可能な第 1 レンズ部（例えば、第 1 レンズ 5 9 2 5 E、第 3 レンズ 5 9 2 6 E）と、
前記第 1 発光手段とは異なる面である前記第 2 の面に配置される前記第 2 発光手段から発光された光を、前記所定方向と略同一の方向（例えば、前方）に進行させて、遊技者が視認可能な第 2 演出部（例えば、端面 5 9 2 1 6 E）を発光させることが可能な第 2 レンズ部（例えば、立設部 5 9 2 1 2 E）と、

20

前記第 2 発光手段から発光された光を、前記所定方向とは異なる特定方向（例えば、側方）に進行させる第 3 レンズ部（例えば、平板部 5 9 2 1 1 E）と、
を有し、

前記第 2 レンズ部は、前記第 3 レンズ部により前記特定方向に向けて進行した光を、前記所定方向に向けて進行させることが可能であり、

前記第 2 レンズ部と前記第 3 レンズ部とは接続され、前記第 2 レンズ部と前記第 3 レンズ部とが接続される接続部（例えば、第 2 レンズ 5 9 2 1 E の角部）は、前記特定方向に向けて進行する光を前記所定方向に向けて進行させることが可能な形状に形成されており、
前記第 1 レンズ部は、発光態様が異なる複数の発光領域を有し、

30

前記複数の発光領域を区分する境界には、一の発光領域と他の発光領域との光の干渉を防止する境界壁が設けられている、

ことを特徴とする。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 8

【補正方法】削除

40

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 9】

本発明によれば、興趣を高めることが可能な遊技機を提供することが可能となる。